

【第2回津志田保育園三者懇談会】

- ◆ 日 時 平成19年3月23日（金） 19時～
- ◆ 場 所 津志田保育園
- ◆ 出席者 津志田保育園保護者8名
- ◆ 内容等

市⇒ 市役所

津⇒ 津志田保育園

保⇒ 保護者

川⇒ 川目保育園

市 みなさんこんばんは。どうもご苦勞様。出席予定者の名簿を見ると9名ぐらいに丸がついてあったので、遅れていらっしゃる方もいるかもしれないが、5分経過したので早速懇談会を始めさせていただきます。

本日の懇談会については、3月17日に行った説明会の席上、保護者の方から第14回目の説明会で移管先法人が川目保育園に決定したことから、川目保育園の園長先生からお話をいただいたわけだが、その話を聞いていない保護者の方が川目保育園からの話を聞きたくて参加したのだという声があった。

そこで、その場で急遽ではあったが、昨日と今日、保護者、川目保育園、市とで懇談をしようということで開催した次第だ。聞きたいことがあればどんどん聞くというスタイルで行うということで通知をさせていただいた。この人数なので、いつもであれば対面に向かい合って行っておるが、ざっくばらんにお話をしたいということでこのような車座としたのでひとつよろしく願いしたい。

それでは懇談会に先立って、宮川課長からご挨拶申し上げます。

市 こんばんは。2月24日に決定した移管先法人をご紹介しているが、2月24日の説明会にお出でいただけなかった方はいるか。みなさんそうなわけだ。

それでは私の方から本日お出でいただいている川目保育園の園長先生のプロフィールをご紹介させていただいて挨拶とさせていただきます。

佐藤園長先生は、福岡高校を卒業された後岩手大学に進学され、卒業後岩手県立福岡高校の先生としてスタートを切り、教育一筋に歩んでこられ、平成14年に盛岡南高等学校の校長先生を最後に退職された。平成14年12月から社会福祉法人福振会が運営している川目保育園の園長として勤めている。なお、平成17年4月からは岩手大学工学部において非常勤講師を勤めておられる傍ら、平成18年4月からは一戸町の文化財調査専門委員も勤めている。後ほど保育士たちのご紹介において保育にかける情熱についてもお話いただけると思うのでよろしく願います。それでは懇談会を始めさせていただきます。

市 それでは始めさせていただきます。まず、お手元の川目保育園の資料だが、それはあくまでも川目保育園のパンフレットだ。現在川目保育園がどのような保育をしているかとい

う参考資料だ。

4月1日から引継保育が始まるということで、川目保育園から主任保育士を含め3名の方に来ていただくこととしている。

本日はこれから来ていただく3名の保育士も来ている。それでは、川目保育園の園長からご挨拶と、来る職員の紹介をお願いします。

川 こんばんは。保護者の皆様には、昼お仕事をして、夜ご出席をいただきありがとうございます。

先程、課長から過分なご紹介をいただいたが、川目保育園の園長だ。私は教育のことであれば多少知っているが、保育のことは全くの素人だ。従って、園長になってから、保育の本を開いており、少しは保育のことも分るようになってきたのかなと思っている。

とにかく、小さい時、0歳から特にも3歳くらいまでは、人生の基礎をつくる時代だと思う。建物でいえば土台だ。この基礎が貧弱に出来上がってそのうえに建物が建つ、基礎が悪いのにそのうえにどんな立派な建物を建てても、ある時期にその建物が崩れてしまう。

そういうことだから、如何に保育の仕事が大事な仕事であるのかということだ。日本では、あまり高く評価されていない保育士の仕事だけれど、外国では保育士の仕事は非常に高く評価されている。イギリスのダイアナ妃も保育士だ。だから保育士は、それなりに地位もあり、貴族なども相手にして仕事をするわけだ。日本でも本来は、もっともっと保育士は優遇されていていい仕事だと私は思っている。

したがって、勿論保育士もそういう非常に大事な仕事をしているのだという、熱意、情熱、使命感を持って仕事をしなければならないということだ。そのためには、毎日毎日研修をして、自分の力量を高めていく。保育士は、保育士登録ということでプロの専門職として今スタートしている。プロというのは、自分の仕事に絶対的な責任を持つというのがプロなわけだ。そういうプロを目指して保育士は保育をしていかなければならない。

また、園長あるいは管理する人たちは勉強をさせていかなければならない。私はそういう立場にあるから、保育士の研修には積極的に出て行くように話をしている。

お金の問題もあるので無制限にという訳にはいかないけれども、とにかく研修には参加させたい。川目保育園としては、保育士の研修に年間100万位使いたいところだが、そうもいかないで、50万円から60万円位を研修費として使っているけれど、もう少し増やしていかなければと思っている。いずれプロだという自負心を持って仕事をしてもらいたいということだ。

また、保育園にとってお客様は誰か、お客様というのは甘やかして好きなことをさせるということではなくて、その子供がいるから保育士の仕事があるわけだから、そう考えればお子様はお客様である。そのお客様を粗末にすれば、普通の店は潰れるわけだから、したがってお客様を如何に大事にするか、そして預けた親が如何に安心してもらえ

るか、そういう保育園を目指している訳だ。どの保育園もそうだと思うが、安心・安全ということの一つの目標にしている訳だ。安心・安全だけでなく一人ひとりの子供に何かをできる、何かをしてあげられるというのがプロだと思い、我々川目保育園の職員集団はいろいろ工夫しながら仕事をしている。少し口幅ったいことを言ったが、そういう気持ちで、子供が一番大事なのだ、子供第一主義で我々は保育をしている。

ここで4月1日から津志田保育園の方に派遣する職員を紹介する。主任保育士として派遣するAだ。保育士として派遣するBだ。同じく保育士として派遣するCだ。Aは10年以上の経験を持っているし、あとの二人は6年、7年の経験を持っている。新しいところに来ていろいろと戸惑うこともあろうかと思うが、保護者の皆様にはもたもたしていると思われるかもしれないが、ひとつよろしく願いしたい。

いずれこの3名は組織の全く違うところにお世話になるので、新採用のつもりで勤めさせていただけたいと思っているので、どうぞよろしく願います。

市 ありがとうございます。続いて、昨日市では異動の内示があったので亀山園長から来年度の体制について説明する。

津 こんばんは。今説明があったとおり市役所の人事異動内示が22日にあって新聞にも載っている。私どもの保育園の方では、川目保育園のほうから3名の方を迎える。しかし3人が抜けるということではなく、抜けるのは2人だ。その2人は、まずD保育士。今現在2歳児を担当しておる者だが、この方は退職だ。もう一人がE保育士。これはちょうど1年になるが、結婚、そして出産ということで現在育児休業中の職員だ。本人は更にあと1年間育児休暇をとる予定とのことだ。この者が本宮保育園の方に配置換えとなっている。

したがって、現在の職員の中から抜けるのはこの2人だが、実質的にはD1人が抜けるということだ。

市 本日は懇談会ということで、川目の園長、津志田の園長もいるので、ざっくばらんにどんなことでも構わないので、この際聞きたいことや話したいことをお一人ずつお話しただくというスタイルでお願いしたいと思う。

保 4月からいらっしゃる保育士一人一人に聞きたいのだが、みなさん結構長いと聞いて安心しているのだけれど、自分自身の保育の方針とか心掛けているようなことを一人ずつ聞きたい。

川 それでは、私はAです。よろしく願います。私は、まず子供が大好きであるということだ。そして、子供たちが育っていく、大きくなっていくところを見守ったり、認めたりして親とすごいねと喜びあって、それを高める保育ができたときがすごく幸せだと思っている。川目でも津志田でも子供は同じだと思っているので、そこを発見してやっていければスムーズに進むのではないかと思っている。よろしく願います。

川 Bです。私は、3歳と1歳の子を持つ母で、私も子供を始めて託児所に入れて働いたことがあるのだけれども、今まで保育士として働いていて、初めてきたお子さんが慣れ

るまで泣いていた時、お母さんたちを励ましていた立場だったのだが、今度は預ける立場になってやっぱり自分の子供も1週間ずっと泣かれて、そこまで泣かれてまで働く必要があるのかと親の方がくじけそうになった思いをして、お母さんたちもそういう思いをしながら保育園に子供を預けられて頑張っているのだなという気持ちが分かった。

私も子供が1週間ずっと泣いて、そこから切り替えて、託児所は楽しいというふうになったのだけれども、子供が楽しいと言って保育園に通ってくれるだけで、親としては仕事を頑張れるという気持ちになれたので、私も預かっているお子さんに安心して保育園って楽しいと思われるような保育をしていきたいと思う。川目保育園に勤めているときに、運動会とかの行事に向けて、例えば運動会だからこういう踊りをするとか発表会をするということではなく、4月の当時からこういう風に育って欲しいなという願いを持って、毎日やっている保育を発表会に見せる。行き当たりばつりの保育ではなく、毎日続けている保育でこれくらい成長したのだよってという発表会をしていることがすごく勉強になり、毎日やっていることがすごい力になることを学んだので、津志田保育園でもそういう保育をしていきたいなと思っている。よろしくをお願いします。

川 Cです。よろしくをお願いします。私も先生たちが言うてくださったように子供たちと一緒に何か目標に取り組んだり、達成できたとか、成長して大きくなったりすることを一緒に感じて、お母さんたちとも一緒にこういうことも出来るようになったよねとか、ああいうことも出来るようになったよね、というお話をしている中で子供たちの成長を見られるのが、とても毎日楽しく思っているので、安心して預けていただくことを踏まえながら、日々子供たちと一緒に楽しく過ごして行きたいなと思っているのでよろしくをお願いします。-

保 特に考えてこなかったのだが、話を聞いていて園長の言うプロ意識を感じることができたので、それを踏まえて、今預けている津志田保育園のやってきたことを引き継いで頑張ってもらいたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

保 先生方が代わることで子供たちへちょっとは影響があるかと思うので、ちょっとした小さな問題へもきちんと対応していただき親が安心できる環境づくりをしていただき、今までのような関係を受け継いでいただきたい。

津 先程言おうと思ったのだが、また機会があるかと思ひ言わなかったのだが、担任保育士の配置だ。C保育士が4歳を担当していただく。

また、B保育士が1歳を担当していただく。他はどうなるかと言うと、2歳は今1歳を担当しているF保育士が2歳に持ち上がる。

今5歳を担当しているG保育士は子供が卒園してしまうので2歳のところに入る。

それから、3歳のところには、今現在3歳を担当しているH保育士が持ち上がらずに3歳のままでそこを担当する。

4歳がC保育士だ。私の思いではC保育士には4歳、5歳と2年続けて持っていただ

きたいと思っている。

最後に4歳を担当しているI保育士が5歳を持つ。いろいろな考え方があるかと思う。

毎年毎年変えることもあるかと思うのだが、やはり続けるということが大事、特に4歳、5歳のところはつながっていた方が卒園、そして入学というふうなだんだん仕上がっていく、育っていく中で大事な部分なのかなと思うのでそこは替えないということだ。どうしても新しくならざるを得ないが、その中でも継続すべき部分をできる限り残すという考え方を持ってこのような配置とした。

保 特別に質問はないが、新しく来る先生方の話を聞いて安心した。大変な時に来て先生たちも大変だなと思う。これから良いコミュニケーションを取りながら、良い保育園になるようよろしくお願ひしたい。

保 説明会のときに再三出ていた話だけれども、保護者の立場としては川目保育園の保護者の方のことを思った時に、経験のある先生が抜けてしまうことがすごく不安ではないかと思うのだが、保護者の方にどういう説明をし、どういう声が上がっているか聞きたい。

川 現在、川目保育園に席を置いているのはA保育士とC保育士だ。B保育士については新規採用だ。いったん子育てのために川目保育園を退いており、現在子育てで待機中だったので、またお願ひしたものだ。実質2名ということだ。(川目保育園で)3年、4年とたっているが、まだ担任を持たせていない職員もおるので、これを機会に職員を育てる意味で抜けたところの担任を持たせようかなと思っている。保護者の方には若干負担はあると思う。

また、更に10月にはまた3名の保育士派遣ということになるので、現在はまだそれ程手薄ではない訳だが、10月の時がむしろ、保護者はそんなに移ったらうちはどうなるのだというようなことじゃないかなと思っている。

だから、それまでに5年以上の経験を持つ保育士を新たに雇い入れて、そして出来るだけ今の川目保育園に実害のないようにする。というのは、本家本元の川目保育園がこの保育園はダメだよと言われてたら、こっちもうまくいくはずがない。もしも、そういうわさが立ってはうまくない訳なので、川目保育園は川目保育園として発展し保護者から信頼を受け、子供たちが生き生きとして生活できる場所でなければ、とても移管されたといっても安心している訳にいかないのだから、まず川目保育園をきちっと経営していくことが大前提だ。本当にご指摘のとおりだと思うので、肝に銘じて川目保育園が保育でクレームが来ないように万全を期してまいりたいと思っている。

保 担任のヘルプではいる先生たちが短期で代わっているが今後どうなるのか。また、担任はお聞きしたが、副担任はどうなるのか教えてください。

津 おっしゃるとおりに公立の保育園は臨時保育士の数が多い。例えばうちの方で言うと、主任を含めて正職員保育士が8人、これに対して臨時・非常勤の保育士が8人と半分半分の配置だ。現在、2人が育児休業中なので正職員保育士が6人、逆に臨時保育士が2

人増えている。臨時は1年間という期限が付いており、これを超えて雇用できない仕組みになっている。私たちとすれば同じ方はずっとお仕事をさせていただきたいと思っている。お子さんと保育士との信頼関係がせつかく築かれているのという思いがいつもある。

ただ、どうしてもそういう条件の中でお仕事をしなければならないとなっているので、あとは出来るだけ長い期間で雇用する。

また、出来れば前に来ていただいた方に一定期間休みいただいた後にまた来ていただく、これを常に念頭においてというか、そう心掛けて臨時保育士には来てもらっている。

先程、担任の先生のお名前をお話したが、臨時については、3歳のところは今現在正職員の方のH保育士、臨時の方のJ保育士に入ってもらっている。J保育士は、昨年8月から来ていますので今年の7月までという期限が付いている。J保育士は、3歳から4歳に移っていただくので今の子供さんと一緒ということになる。

今4歳を重点的に入っていただいている朝の顔、朝7時からいつも来ていただいているK保育士は、朝みなさんのお子さんを迎えた後には4歳に入っていたが、5歳に入っていたかどうかというふうに思っている。ちょっと順番が逆になっているが、今2歳に重点的に入っていただいているL保育士は、3歳をというふうにそれぞれ馴染んでいる、親しんでいるお子さんと進級していただくというふうな考え方だ。

今1歳のところに入っていただいている臨時保育士はここ数ヶ月のところで入れ替わりがあったこと、それからもう一つには1歳であれば正保育士1人から2歳になると正保育士2人配置となるので、ここには臨時保育士を特に固定した人を充てるということは考えていない。

そして1歳のところには、今でも入っているM保育士に当面入っていただきたいなと思っている。

今それぞれお名前を言った保育士は、それぞれ皆いつか期限の来る方だ。いったん雇用期限が切れると3ヶ月間の中断期間をおかなければならないルールだ。だからその後の諸事情によりまた来ていただければこちらもありたいが、来ていただけない場合もあるし、私たちの任用できる枠がある中で来ていただきたいが、枠そのものがいろんな条件で作られ、作られているのでなかなか思うようにいかない。その所はお察しいただきたい。

保 自分のところの話で申し訳ないが、H保育士はどこの担任なのか。

津 H保育士は持ち上がらず3歳の担任になる。そして今3歳のお子さんは4歳、5歳とC保育士に続けて持っていただければよろしいかなと思っている。今の段階で3歳、4歳と持ち上がると4歳と5歳の間で切れてしまう。19年度と20年度に大きな境目があるのでそこを切らないようにするため、今ここでお渡ししたほうが良いのではないかと考えた次第だ。

保 そうするとJ保育士は7月で終わられて1人になるということか。

- 津 J 保育士が終わられた後には、代わりの臨時保育士に来ていただくことになる。
- 保 うちの子の所しか良く分からないので、他の先生の名前も正直よく分からない。1歳から入れているが、うちの所だけ学年が上がる度に変わって引き続いたことがない。今度新しい先生がいらして4歳、5歳と引き続いて持っていていただけるようだが、やはり新しい方なのでちょっと不安な所もある。どの子に限らず突然人見知りをしたり、楽しんで行っていた子が急に何かの拍子で行きたくないとか、うちの子でも学年が持ち上がるだけでも泣いたりしていた、今はもう大丈夫だが。そういう心配が少しある。一ついえるのは、今の保育園を引き継ぎながらも、もっと良い保育をして欲しい。贅沢かもしれないが親側からお願いしたいと思う。
- 津 おっしゃることは本当にそのとおりだ。全ての先生が持ち上がるのがある意味でベストな訳だが、そうはしたくても出来ない部分、クラスが出てきてしまう。それが今回は3歳の所だったということで何も釈明できない。お話の点についてはよく分かっているということをご理解をいただきたい。いずれ5年間持ち上がる訳にはいかない。
- 保 うちの子は、19年度は5歳だから先生方に直接お会いすることはないかもしれないが、広い目で子供たちを見ていただきたい。よろしくお願いしたい。
- 市 一回りしたが、他にご質問などあったらお願いしたい。
無いようであれば、人事異動などについて少しお話をします。
- 市 これまでの説明会の中で、皆様のほうからできるだけ保育士を変えないで欲しいというご要望があったので、人事当局に伝えている。今回の人事異動では、退職される方と現在育児休暇中の方ということで今いる方は残るとということで皆様方のご希望に沿ったものとなっている。
それから引継保育がこれから始まる訳だが、市としては出来るだけフォローしていきたいということで、皆様にはお話していなかったが、今回児童福祉課に公立の保育園長経験者を非常勤保育士とし配置し、こちらの民営化がうまく進むよう訪問する。皆様の話を聞いたり、移管先法人の派遣職員の相談を受けたりなどの業務をしていく。
- 市 せっかくの機会なので、そのほかに皆様のほうからないか。
- 保 先日説明会でお聞きしたのだが、先生方は26日の月曜からいらっしゃるといいますか。
- 市 そうだ。公募の条件では4月1日からということにしていたが、川目保育園から4月1日からではなく少しでも早くからお子様の状況把握に努めたいとの提案があった。協定を結び4月からは経費をお支払いする訳だが、3月分は川目保育園での負担での対応となることをご理解のうえ26日から派遣いただくこととした。勤務時間については、津志田保育園の方で引継ぎなどが行いやすい時間に決めていただく。いずれ当初の計画には無かったのだが、来週から来ていただくこととしたのでよろしく願います。
昨日、保護者の方から出た中では、給食関係の引継ぎをどうして行くのかという質問に、川目保育園としては1月から栄養士又は調理員が津志田保育園の内容、スタイルを学ぶ予定であることをお話している。4月になって給食が急に変わることがないように引

継ぎを行うわけだ。

市 あとはないか。

保 川目保育園では男性保育士の方がかったつな運動など取り入れているのが特色と伺っているが、川目保育園が独自に力を入れているものもやっていただけるものなのか。

川 これについては保護者の方々も色々なお考えがあると思うので、保護者の方々のご意見を取り入れながら取り入れるか考えて行きたい。現在、男性保育士の会を4～5名の男性保育士で作っている。そのリーダーになっているのがうちのB保育士のご主人だが、川目保育園を練習場所に活動している。そのメンバーの1人である男性保育士を4月からうち方で雇うこととしている。今は紫波の虹の保育園で臨時の保育士をしている。B保育士の夫や他の男性保育士といろんな事をやらせ、そして来年の4月から男性保育士1人をこちらの方に移し、男性保育士としてやれることをさせたい。4・5歳になると男性保育士も結構人気がある。たくましさを求めて、特に男の子には人気がある。

こちらにも男性保育士を入れて、川目保育園とも連携を取りながら、あちこちの保育園を回って色々なものを見せて歩けるようにしなさいという話をしている。私がこの男性保育士のグループを応援しているのは、こんなことを言うと差別と言われるかもしれないが、やはり保育園は女性の職場だ。特に保護者からも言われたことがあるけれども、0歳、1歳、2歳のあたりはおしめを替えたりなんかするわけだ。すると女の子の母親は男性保育士にそんなことをして貰いたくないと言うわけだ。だからどうしても3歳、4歳、5歳のところに配置するしかないわけだ。あんまりいっぱい男性保育士がいても役割が無くなってしまう。そういうこともあって、男性保育士で無ければ出来ないことを考えて活動しなさいよというふうなことをずっと話をしてきた。それで工夫されて色々なことをやってみせ、子供たちからかつさいを得るようになったのかなと思っている。津志田保育園でももしよろしかったら呼んで色々なことをやらせればいいのかと思う。勿論無料だ。

市 あとはないか。

今日は懇談会ということでこのようにざっくばらんにお話をしたわけだが、うちの方で三者協議という言葉で前に話していたのだが、中身はこのような懇談会のイメージだ。保護者会、川目保育園、津志田保育園、私たちがざっくばらんに関後民営化して移管する際にこういうふうにしたらいい、ああいうふうにしたらいいということを話し合いより良い方向に行こうということだ。

だから協議というより懇談みたいな形でおのおの出し合って出来るもの、出来ないものをはっきりとしてより良いものにしていこうというものだ。こちらのほうで三者の協議という硬い言葉で出したので違和感がある感じになっているのかと思ひ懇談という形でご案内を差し上げた。それでは今後の日程についてご説明する。

皆様のお手元にお配りしている移管計画案になるけれども、大きく法人決定から引継保育まで、4月1日から来年の3月31日までの引継期間、移管後1年目、そして2年目

という形で分けている。今は移管先法人決定から引継保育開始までの間のことになるが、移管計画案では移管先法人の紹介、これは2月に選定の経緯とか園長先生の紹介とかをした。

それから三者懇談会の設置ということで、これについては今後どのように進めるかということで昨日もお話し合いをしたが、4月以降も定期的に保護者の方、川目保育園、津志田保育園や市が良い保育園にしていくためにどうゆう風にしていくか話し合っていきたいと考えている。そして引継保育士の顔合わせと意見交換は昨日と今日行ったところだ。

引継保育に係るスケジュールの話し合いということで、今後4月1日から移管までの間に、移管後に基本的には津志田保育園の保育内容が変わらないということにしているので、そのためにみなさんから色々意見を聞いたりする。また津志田保育園の保育が必ずしも一番ということではないので、もしみなさんの方から川目保育園でやっているもので良いものがあれば取り入れて欲しいとか意見を頂戴し、移管後にいい保育園になれるよう話し合っていきたいと思う。実は昨日公立保育所の人事異動の発表があつてできるだけ皆様のご希望に沿う形になったが、引継ぎは来週からこちらにいらっしゃる保育士の方にお出でいただき行っていく。

それから津志田保育園ニュースということで保護者の方からどういうふうになっているのか分からないという意見多かったので、例えば三者懇談会でこういう意見が出たよとかいうものを保護者の方に分かるような形でお配りしたいと思う。

これまでは説明会の資料とか会議録だが、今後はそういった今の計画の進捗状況とか、話し合ったことをお出でいただけない保護者の方にも分かっていたるようにニュースを発行したいと思っている。

移管先法人の決定について地域の方に報告したいと考えている。当初3月に報告したいと考えていたが、4月に総会があるということなので、出向いて移管先法人を地域の町内会の方にご紹介したいと思っている。以上が3月まで計画したものだ。4月から引継保育が始まるし、三者懇談会も定期的に皆様とお話をしていきたいと思っている。

昨日の保護者会の方の意見は、以前我々が提案していたように保護者会の役員が代表として参加するのではなく、色々な意見を言いたいので保護者全員に案内をし、出席できる方が出る形のほうが良いというものだ。市としては保護者会のご要望に沿い全ての方にご案内を差し上げ、出席できる方に出させていただいて、意見をお聞きし、より良い保育園にしていきたいと思っている。

以上説明をしたが、最後に何かあるか。

昨日、今いる臨時保育士の任用についてご質問があり、市としましては話して来たとおり、あっせんしていくとお答えしている。川目保育園としての考え方を話していただく。

川 今現在8人いるようだが、平成19年3月31日現在では何名程度か。

市 5名程度だ。

川 川目保育園が運営する場合、臨時職員はせいぜい1人か2人くらいで、後は正職員となる。正職員は採用する場合は、法人なので役員会の審査がある。園長の専決事項ではない。臨時までは園長の専決事項なので面接で決める。だから本採用についてはここではお約束できない。臨時職員といっても現在川目で働いている職員は常勤だ。普通の職員と同じように担任を持ってもらう。

したがって、そういう力量があれば喜んで採用させていただく。組織というのは人柄、協調性が大切だ。どんなに有能な人でも協調できない人はマイナスになる。

だから仕事というのは、まずもって和が大切だ。だからその所だけは吟味をさせていただく。こんなことを言えば失礼になるかもしれないが、前に確かこの津志田保育園で臨時をされていた人を雇ったことがある。公立保育園で働いていたのだから力量はあるだろうと思った。ところが全然仕事が出来なかった。むしろそこに1人臨時保育士をはり付けた。物事にむとんちゃくでエプロンも何ヶ月も洗わない。他の先生から3月になったら替えてくれと言われ1年間で辞めていただいた。だから人間というのは見た目だけでは分からない面があるので、そういう意味で採用する場合には吟味をさせていただくということだ。臨時といえどもばりばり働いていただく。その代わり研修にも出すし、勉強もさせる。意欲があれば勉強をさせてその中で周りの保育士から、園長あの保育士はすごいよ、4月から本採用にしてくださいよと、やっぱり周りからそう言われる保育士であれば本採用にしていくという考えだ。だから臨時で雇うといっても必ず正職員にするのだという気持ちで私どもは採用していくので、採用については吟味させていただくということだ。

市 あとはないか。無ければ本日の懇談会はこれをもって終了させていただく。